

まさには

「知恵と力は神のもの」

「神の名が代々としえにたたえられますように。知恵と力は神のもの。」

(ダニエル書 第2章20～23節・旧約聖書1361頁)

はじめに

預言者ダニエルが活躍したのは、南ユダ王国がバビロンによって征服された直後から始まります。ユダはエジプトの援護により延命を図りますがバビロンの逆鱗に触れ、第一回目の捕囚が行われます。その際に対象となったのが国の中枢にいた優秀な人物たちでした。その中の一人にダニエルがいました。BC605年のことです。結局ユダ王国は傀儡政権を望まず、反逆し続けたことで10年後に滅亡するのですが、ダニエルはバビロンからペルシアに支配が変わっても、王宮に仕え続けました。ただ優秀だからではありません。激動の時代にあって、神に用いられた秘訣を探ってみたいと思います。

夢が解けない

ネブカドネツァルは夢を見ました。内容に重要な意味があると考え、夢を解き明かせる者たちを呼び寄せます。その時、彼は夢の内容を明かしませんでした。いいかげんなことを言えないようにしたのです。呼ばれたカルデア人らが「誰も解けるわけがない」と反論したことで、王は魔術師、祈祷師、呪術師、バビロンでは知識人として重用され、占星術師でもあったカルデア人を皆殺しにするよう命じました。その対象に含まれたダニエルの元にも取り締まりの手が及びました。私たちの現代もこうした職業が存在しています。それは同じように、先が読めない混沌とした時代だからです。この時代に生きる私たちは、ダニエルのように用いられる者となるべきなのです。

秘密の啓示

ダニエルは何をしたでしょう。仲間の3人に祈りを要請したのです。3人も他人事ではないと受け止め、祈りました。祈りの課題を、その共同体や教会が他人事ではないと受け止めることで、祈りの力は大いに増大していくのです。その祈りは答えられ、「秘密が啓示」されます。

この天地が造られた時、混沌とした世界を一変させたのは、「光あれ」との言葉でした。そこからすべてが整えられ、神中心の秩序ある世界が完成されていきました。まさに、「秘密の啓示」とは混沌の世界に光が差し、混沌の原因が明らかにされることを指しています。そして、それは課題、重荷、また使命として受け止めた者たちの祈りによってもたらされるのです。

ダニエルの祈り

時の支配者を立て、また世界を動かしておられるのは神です。権力者や時代が変わっても、神がすべてを動かしています。自分の分別でいくらかでも語って構いません。また対処してもよいでしょう。しかし、神に「なぜですか」と問うのは愚かです。神の知恵は測りがたく、人間が受け止め、理解する能力を超えているからです。だからこそ、ダニエルのようにへりくだって祈り、神からの知恵、力を求めていく、そうするなら、光が差し、混沌の時代に、その問題に、どう行動すべきかの答えが与えられていくのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「神の名が代々としえに
たたえられますように。知
恵と力は神のもの。神は時と時期を変え 王を
退け、王を立て 賢者には知恵を、
分別を知る者には知識を与えます。
神は奥義と秘義を啓示し 闇にある
ものを知り、光が御もとに宿りま
す。私の先祖の神よ 私はあなたに
感謝と賛美を献げます。あなたは知
恵と力を私に授けてくださいまし
た。私たちがあなたに願ひ求めたこ
とを 今、あなたは私に知らせ 王の言葉を私
たちに知らせてくださいました。」(ダニエル書
2:20～23)



神さま、私が生きているこの時代は、なんと
様々なことが起こるのでしょうか。みんな幸せ
になりたいと思っているのに、不幸なことばか
りが起こります。人間関係もうま
くいきませんし、平気で殺人を犯し
たり、だましたりする人がなんと多
いことでしょうか。それは国同士の戦
争にもみることができます。私は
どのりように行動したら良いので
しょうか。ダニエルは祈りました。
そして、それを解決へと導きまし
た。私にも、混沌を破る光、あなたの知恵と力
をお与えください。御名によってお祈りいたし
ます。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (60) 第3章22節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

- ◎協会共同訳 「それらはあなたの魂の命となり
首を飾る恵みとなる。」
- ◎口語訳 「それはあなたの魂の命となり あなたの
首の飾りとなる。」
- ◎新改訳 「それらは、あなたのたましいのいのち
となり、あなたの首の麗しさとなる。」

「魂の命」

前節の「よき考え」は神から与えられた健全な価値観、「慎み」とは、親から授かった知恵、これは神を畏れることが基本ですが、その知恵をおろそかにせず、自分勝手に振る舞わないことであると解説しました。

この節は、前節と連動し、「よき考え」が「魂の命」になり、「慎み」が「首を飾る恵み」となるとして、受け取って良いと思います。

ここで「魂」と訳されているヘブライ語は創世記では「水は群がる生き物で満ち溢れ」「地は生き物をそれぞれに従って生み出せ」(1章)のように、「生き物」と訳されている語で、鳥や獣、魚や虫などの総称でもあります。つまり、「生きのあるもの」が、人間に対して使う場合は「魂」と訳されているわけです。つまり、魂は、心を動かす器官を指しています。車で例えるならばエンジンです。ただ、エンジンをスタートさせ

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

るためにはエンジンキーや燃料が必要となるように、そのままでは動きません。神は他の生き物とは違う創造をされました。「命の息を吹き込まれ『生きる者』とされた」(創世記2:7)、それがここでいう魂に吹き込まれた「命」であり、神の知恵なのです。

私たちがもし、神の知恵によって生きていないのなら、それは「人間」とは言えず、ただ本能をむき出しにした獣のような存在でしかない、そうした意味も含んでいるのだと知っていただきたいと思います。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

ヨシュア記第1章3節「私はモーセに告げたとおり、あなたがたの足の裏が踏む所をことごとくあなたがたに与える。」◆私は学生時代、それは数知れずトラクト、集会案内を配布した。おそらく万の単位だと思う。教会の周りを何度も歩きながら配っていたその時、いつもこの御言葉が心の中にあって、私を力づけた。足の裏で踏むところは「ことごとく」あなたに与えるとの約束を信じていたし、実際に、そのトラクトで教会に来られた方もいた。私たちは神に期待する。だが、その前に、踏んでいかなければならない。

●賛美 / 324 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

ヨシュア記第2章2節「二人は行って、ラハブという名前の遊女の家に入り、そこに泊まった」◆なぜ彼らがラハブのところへ身を寄せたのかは書かれていないためにわからない。しかし、遊女であり、町の隅に住んでいたため、外部からたやすく入ることができたのだろう。神はすべてを備えられているのだ。ラハブはヨシュアが送ったスパイの二人をかぐまい、しかも貴重な情報をもたらした。神の味方は敵の中にひそんでいる。恐れてはならない。ラハブの一族は救われ、そして、救い主の系図に含まれるまでに祝福された(マタイ 1:5)。

●賛美 / 325 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

ヨシュア記第3章17節「イスラエルのすべての人々は干上がったところを渡り、ついにすべての民がヨルダン川を渡り終えた。」◆約束の地へはヨルダン川を渡っていかなければならないのだが、雪解け水によって増水していた時期だった。しかし神はあの紅海での出来事をこの世代の人にも経験させるべく、川を渡るように命じられたのだ。ヨシュア記は「足を踏む」「進む」ことが強調されている。ここでも祭司たちが足を踏み入れる瞬間、水が分かれた。民たちは干上がった地を渡りながら、紅海での出来事を実感し、主が生きておられことを知ったに違いない。

●賛美 / 326 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ヨシヤ記第4章14節「主は…ヨシヤを大いなる者とされた。彼らはモーセを畏れ敬ったように、生涯を通じてヨシヤを畏れ敬った。」◆偉大なモーセの後継者に指名されたヨシヤに、神が「強く、雄々しくあれ」と語ったのは、戦いへの備えだけではなかった。イスラエルの民たちがリーダーとして認めてくれるだろうかと悩んでいたからでもある。ヨシヤがもし、自分の評価を得るために働こうとしていたら失敗していただろう。彼の心が神の言葉に従うことに向いていたからこそ、ヨルダン川を渡ることもでき、なおかつ、支持を得たのである。

●賛美／327 ●祈禱課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ヨシヤ記第5章12節「彼らが土地の産物を食べた翌日からマナは絶えた。もはやイスラエルの人々にマナはなく、彼らはその年、カナンの地で収穫されたものを食べた。」◆40年間、だれも飢えて死ぬ者がなかった。これは奇跡である。マナは役割を終えたが、神の恵み、その養いがなくなったのではない。翌日からは、その地の穀物を豊かに実らせてくださり、民たちを潤し続けられたのだ。神は私たちの境遇にあわせて過不足なく養いを与えてくださる。神を頼る者は、どこでも、どんな状況でも、神の養いの中に置かれることを覚えたい。

●賛美／329 ●祈禱課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ヨシヤ記第6章16節「七日目、祭司たちが角笛を吹き鳴らしたとき、ヨシヤは兵に言った。『鬨の声を上げよ。主はあなたがたにこの町を与えられた。』」◆神の約束は確実に、御言葉は必ず成就する。私たちがそれを疑うから、御言葉通りになっていかないのだ。なぜ疑うのか。それは自分の限界を神の限界にしているからだ。エリコの城壁は高く、立派で簡単には攻略できなかった。そこで「無理だ」と判断したら、何も起こらない。ヨシヤは神の約束を信じ、そして行った。目の前にある問題は必ず崩れていく。主に呼ばわれ。すでに与えられたと信ぜよ。

●賛美／330 ●祈禱課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ヨシヤ記第7章21節「あるのを見て、私はそれらが欲しくなって取りました。今それらは、私の天幕の中の地面の下に隠れています。」◆エリコを陥落させた後、比べものにならないほど小さいアイに破れてしまった。そこに罪があったからだ。アカンの問題ではない。私たちの中にもアカンは住んでいる。神の戦いにあたって、私たちはその心が神に向いているか吟味すべきである。神以外のものに頼ろうとし、それを見ていないか。そうならば、あなたはそれを欲しくなるだろう。そして手に取るはずだ。その後、神の目から隠そうとする。気をつける。

●賛美／331 ●祈禱課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ヨシュアき 6:1~21】

「エリコをせめる」

(ヘブライ 11:30)

モーセのあとにイスラエルのひとたちのリーダーになったヨシュアは、かみさまから、「おそれるな。わたしはモーセとおなじように、あなたとともにいる」といわれ、ゆうきがあたえられ、せんとうにたって、すすみはじめました。

かみさまから、「あしのふむところはみなあなたにあたえる」といわれて、かみさまをしんじ、すすみつづけていくようとやくそくをいただいたヨシュアは、ゆきどけみずがいきおいよくながれているヨルダンがわもおそれることなく、わたっていき、かみさまがあたえるとやくそくしてくださったちにはいりました。

これからは、てきとたたかっていかなければなりません。

まずはエリコをせめることになりました。

ふたりのひとにエリコのようすをみてるように、めいれいしたところ、イスラエルのひとびとをおそれていることをしることができ、かみさまのたすけがはたらいていることもわかりました。

エリコのまちをまえにして、かみさまはふしぎなめいれいをだされました。「さいしよは、まちのまわりをだまって1しゅうしなさい。つぎのひもそしてつぎのひも、6にちかん、おなじことをしなさい。そして7にちめは7かいまわりなさい。7かいめをまわるとき、つのぶえをふきならし、おおごえをあげるのです」。

ヨシュアたち、イスラエルのゆうしたちはかみさまのいったとおりにまちをまわり、そして7にちめの7かいめ、おおきなこえでかみさまをさんびすると、なんと、がんじょうなじょうへきがなにもしないのにくずれていきました。たみたちはそこからまちにはいり、エリコのまちにかつことができました。かみさまをしんじるしんこうによって、たたかったのです。

●かんがえてみよう

☆ヨシュアたちはかみさまからどのようにエリコのまちをせめるようにいわれましたか。(ヨシュアき6:3~4)

☆なぜラハブはエリコのひとなのにたすけられたのですか。(ヨシュアき6:17)

☆イスラエルのひとたちがかみさまのいうとおりにすると、どうになりましたか。(ヨシュアき6:20)



ななむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ときのこをあげる

あ	き	と	る			を	こ	の
	る		き	の		げ		あ
	の	こ		を			え	る
		げ	え	き	る			
	あ	き						
				こ	を	の		
ね	こ		を	げ	え		き	と
き	げ	え			と		る	を
を			こ	る	き	え		げ

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① ししちにさんのい
- ② しゅうななめ
- ③ じへきょう
- ④ えのぶつ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「故宮博物院」

台北に行ったら、故宮博物院には立ち寄りなければなりません。世界の至宝が詰まっている場所だからです。特に陶磁器や書画のコレクションは最高峰です。ではなぜ、それらが中国ではなく、台湾にあるのでしょうか。

中国の皇居「紫禁城(故宮)」には膨大な美術品がありました。清朝が1911年に倒れた後、中華民国政府(国民党)が北京に故宮博物院を設立し、管理していたのですが、日中戦争が起こったことで

1万点以上の至宝を南京へ移送、避難させます。戦争は終わったものの、今度は蒋介石率いる国民党と毛沢東が起こした共産党との内戦が激化、結局、共産党が中国本土を制圧するに至ります。国民党は台湾に敗走するのですが、その際、文化財の価値を知る幹部が南京へと避難させていた国宝のうち、選りすぐりの約6000点をそれぞれ命がけで台湾に持ち出したのでした。中国が奪いに来ないのは、台湾は「共産党政権は正統な中国政府ではない」との立場から、自分たちのものだと主張しているから、それと台湾での保存状態が極めて良好であることも評価され、世界が認めるに至っています。

アカンが「シニアルの外套」を奪ったのとはわけが違います。

聖書ふれあい街歩き

●ツアレタンの近くのアダム

ヨルダン川を渡る際、主の箱を担いだ祭司たちの足の裏が水につかると上流から流れてくるヨルダン川の水が、遠く離れたツアレタンのそばにあるアダムのところでせき止められ、堰になり、塩の海(死海)に流れていく水が完全にせきとめられました(ヨシュア3:11~)。

この記述から、エリコよりも約20kmほど北に位置するヨルダン川中流域だと考えられています。つまり、イスラエルの人々はエリコに近い場所から川を渡ったのでしょうか。そうすると、「遠く離れた」との記述も合致してきます。また、アダムよりもツアレタンの方が知られていたことがわかりますが、これは、その後、ソロモンの神殿の備品を造る際に、「スコトとツアレタンの間にある厚い粘土層の土で」青銅を鑄造したとあることから(列王記上7:46)、この地が古くから、良質の粘土を産出する場所として知られており、それを利用して青銅などの鑄造所があったからではないかと創造できます。粘土層ですから、神さまは、水をせき止めることにも都合が良い地質だと思われたのでしょうか。川の水ですが、祭司の足にふれると同時に、紅海が開かれたように水が逆流してアダムまで戻ったように思います。

ななめ聖書 先週のこたえ

め	う	せ	こ	い	さ	お	る	を
を	お	る	せ	う	め	こ	さ	い
い	こ	さ	を	お	る	せ	う	め
こ	さ	い	め	る	お	う	を	せ
お	め	う	い	を	せ	る	こ	さ
る	せ	を	さ	こ	う	い	め	お
う	い	め	る	せ	を	さ	お	こ
せ	を	お	う	さ	こ	め	い	る
さ	る	こ	お	め	い	を	せ	う

- ①ちからあるゆうし
- ②しょくりょう
- ③あしのうら
- ④たいれつ



アポロの働き

パウロはしばらくそこ(アンティオキア)で過ごした後、また旅に出て、ガラテヤ地方やフリギア地方を次々に巡回し、すべての弟子たちを力づけた。(使徒言行録18:23)

アポロは(エフェソから)そこ(アカイア州・コリント)に着くと、すでに恵みによって信じていた人々を大いに助けた。

彼は聖書に基づいて、メシアはイエスであると公然と立証し、ユダヤ人たちを力強く論破したからである。(使徒言行録18:27~28)

アポロがコリントにいたときのことである。パウロは、内陸の地方を通してエフェソに下って来て、何人かの弟子に会い、彼らに、『信仰に入ったとき、聖霊を受けましたか』と言うと、彼らは、『いいえ、聖霊があるということなど、聞いたこともありません』と言った。(使徒言行録19:1~2)



エフェソ遺跡

【パウロとアポロ】

エフェソでプリスキラとアキラ夫妻に出会い、「正確な神の道」について説明を受けたアポロは、それまでも増して、力強く福音を伝えることができたはずですが。自分が信じているものがあやふやであれば、その歩みも自信がないものになってしまいます。幸いにもアポロはパウロの直弟子であるアキラ夫婦と出会うことによって、今まで知り得なかった部分も整理され、有能な主の働き人になっていきました。とにかく、雄弁家、話すことを職業にしていた人ですから、多くの人の心をつかむことができたはずですが。

アポロが向かったのはローマの属州の一つアカイア州でした。マケドニア州の南隣、ギリシア南部にあって、アテネ、コリントといった有力都市が含まれています。19章1節で、「アポロがコリントにいたとき」とありますから、コリントを拠点にしたことがわかります。

コリントの信徒への手紙には、争いがあったことが記されています。「あなたがたはめいめい、『私はパウロに付く』『私はアポロに』『私はケファに』『私はキリストに』などと言い合っている」(コリント一1:12)とあり、また同書3章にも具体的な記述があるので、アポロの影響力も大きかったことがうかがえます。ちなみにケファ、つまりペトロの名前が挙がっていますが、ペトロがコリントに行った記録はないものの、ペトロに指導を受けたことがある者がいたことを示唆しています。いずれにせよ、弟子たちと肩を並べられるほど、信頼されていたのです。れたことがわかります。

私は前回にも触れたように、パウロは何気にな

アポロを意識していたのではないかと考えています。「『パウロの手紙は重々しく力強いが、実際会ってみると弱々しい人で、話もつまらない』と言う者がいる」(コリント二10:10)とわざわざ記しているからです。

説教者にとって、「話がつまらない」との言葉を聞いた時ほど落ち込むことはありません。説教中に「黙想している」人を見ると、御言葉を取り次ぎながらも、「難しかったかなあ」と反省することもあります。パウロは相当傷ついたでしょうが、それはアポロと比較されていたからに他なりません。ただ「つまらない」ならまだいいんですが、「あっちの先生の方がわかりやすい」とか言われるといやなもの。だから、思わず愚痴に近いことを書きちゃったんですね。

でも、パウロはアポロを疎んでいたわけではなく、大切にしていました。「法律家ゼナスとアポロとを、何も不足するものがないように、よく世話をし、送り出してください。」(テトス3:13)でわかります。

【エフェソでのパウロ】

アポロと入れ替わるようにして、エフェソに来たパウロ。ガラテヤ地方、フリギア地方と、これまで伝道してきた地域を訪問し、信仰を励ましながら、内陸を通して来たのですが、着くなり、さっそく弟子たちに信仰の手引きをしています。「聖霊を受けましたか」と問うと、「いいえ、聖霊があるということなど、聞いたこともありません」との答え。聖霊の働きによって救われ、聖霊の導きによって伝道していたパウロですから、「これはまずいぞ」と、青ざめたくらいの危機感を感じたことでしょう。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

